

# 経営比較分析表（令和2年度決算）

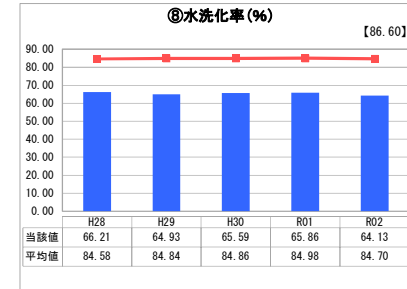
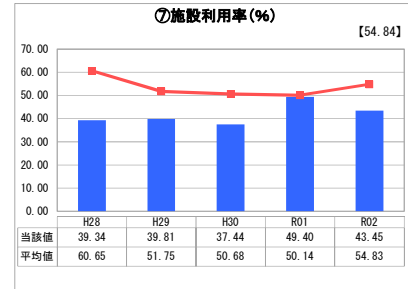
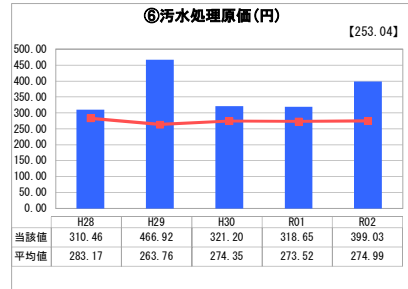
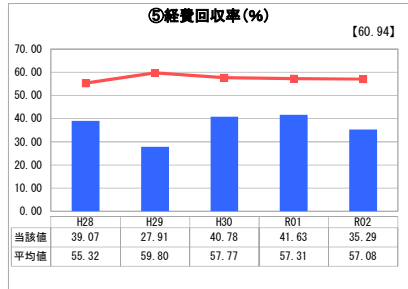
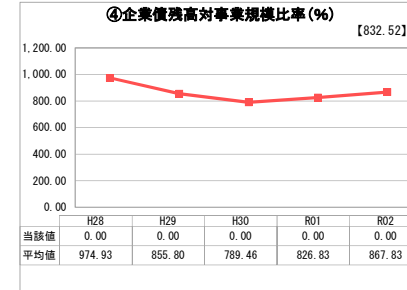
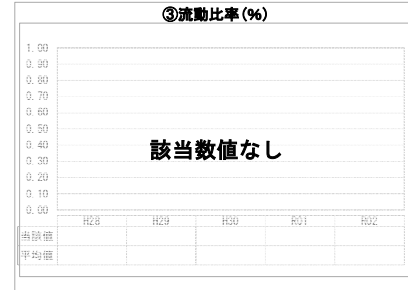
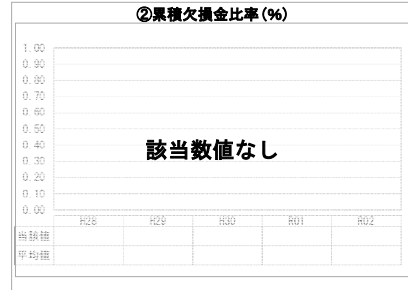
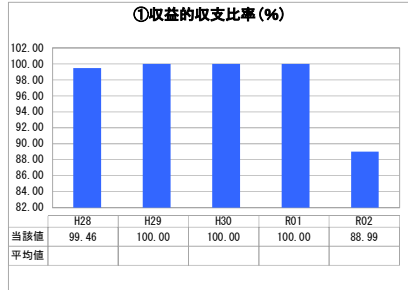
香川県 土庄町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	有収率 (%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	2.46	92.99	3,050

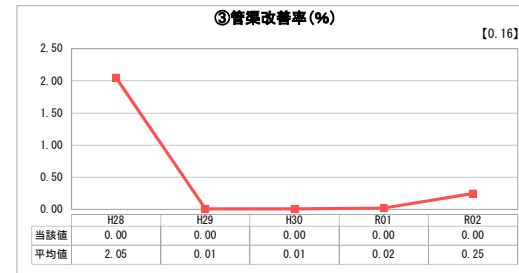
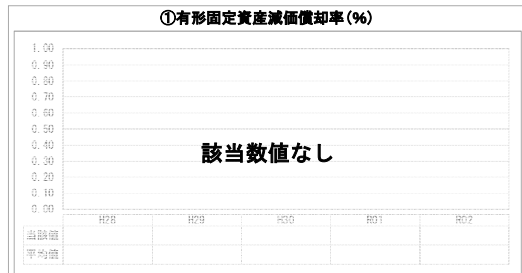
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,514	74.38	181.69
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
329	0.23	1,430.43

グラフ凡例	
■	当該団体値（当該値）
—	類似団体平均値（平均値）
□	令和2年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

今年度の①収益的収支比率は88.99%と対前年比△11.01%の低下となるが、固定資産評価と台帳作成に伴う新規借入が要因である。単年度事業に伴う特殊要因であり、今後は過去の水準に戻る事が見込まれる。

⑤経費回収率も同様に35.29%と対前年比△6.34%低下した。主要因は上記事業実施に伴う経費増加及び老朽化による修繕費増加である。また、差額は一般会計による繰入を中心に補っている事から、令和4年度より使用料の改定を実施する事で、回収率の改善を図っていく。（使用料の改定については令和3年度に住民説明会を実施。施設の現状と課題を説明の上、改定後の使用料を周知した。）

### 2. 老朽化の状況について

平成29年度に最適整備構想を作成し、その結果を踏まえ、計画的に施設修繕を行っていく。大規模修繕が必要な部分（マンホールや調整槽等の防食修繕など）については、機能強化（国庫補助）事業等を活用し、改修を行っていく。また、機械の修繕などの小規模な修繕についても毎年点検を行い計画的に修繕を行っていく。

### 全体総括

使用料の改定は地元住民への説明会を実施。令和4年度に使用料の改定を行っていく。維持管理費等は定期的に見直しを図り削減に努めていく。また、施設修繕については令和2年度策定の経営戦略を基に計画的な修繕業務を実施する事で健全な運営に向けて実施していく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。